

令和5年度第1回焼津市立小学校及び中学校通学区域審議会 会議録

- 1 日 時 令和5年8月3日（木） 15時30分～17時00分
- 2 場 所 焼津市役所本庁舎1階会議室1B
- 3 出席者（15人）
 - (1) 審議会委員
藁科善彦会長、嶋芳正副会長、清水敬明委員、大石智之委員、高橋見香委員、
多々良博之委員、小長谷恭彦委員、大場光雄委員、渡邊徹委員、本間布美子委員
 - (2) 事務局
嶋美津子教育総務課長、寺尾正幸学校教育課長、鷺野誠主席指導主事、
池ヶ谷久子主幹、田宮香澄主任主事
 - (3) 傍聴者
なし
- 4 協議事項
 - (1) 児童生徒数の推移・比較について
 - (2) 焼津市南部土地区画整理事業換地処分に伴う学区改正について
- 5 結果及び確認事項等
 - (1) 児童生徒数の推移・比較について
小中学校とも全体的に学級数が減少の方向にある
 - (2) 焼津市南部土地区画整理事業換地処分に伴う学区改正について
焼津市立小学校及び中学校の通学区域について、答申案のとおり

6 議事

<藁科会長>

それでは議長の職を務めさせていただきます。

また、議事録署名人は、高橋委員と多々良委員にお願いいたします。

議事がスムーズに進行しますよう委員の皆様にはご協力をお願いいたします。

なお本日は、委員全員が出席していますので、本審議会は成立しています。

それでは、次第に従い協議事項1の「児童生徒数の推移・比較について」を議題とします。事務局からの説明をお願いします。

【協議事項第1号】

<学校教育課長>

- ・小中学校の児童生徒数及び学級数の推移の求め方の説明

- ・各小学校区の0歳～11歳の人数の報告
- ・各小学校の令和4年度～令和10年度の学級数の予測値の報告
- ・各中学校区の0歳～14歳の人数の報告
- ・各中学校の令和4年度～令和16年度の学級数の予測値の報告

<藁科会長>

ただいま、「児童生徒数の推移・比較について」説明がありましたが、質問を含めご意見はありますか。

<大場委員>

児童生徒数の減少はこの資料でわかるが、外国人はどうか。

<事務局>

平成30年度比で約1.8倍になっており、今後も増える見込みである。

<大石委員>

1クラス(単学級)の学年が増えるとのことだが、学校経営の観点や子どもたちの学びも変わってきていることから、市民としては学校の統廃合がないか気になる。どういった状態になったら統廃合の検討を始めるのか、現状について聞きたい。

<事務局>

当面は単学級の維持は可能である見込みのため、現時点では統廃合は考えていない。

<清水委員>

小学校6年生が国立や私立の中学校に行く割合を聞きたい。

<事務局>

手元に資料がないためこの場での回答はしかねるが、資料1は、国立や私立に進学する生徒も考慮した、これまでの予測値となっている。

<渡邊委員>

教育委員会として課題とするものはあるか。

<事務局>

単学級の課題について、市としても子育て施策に力を入れている。焼津市の教育方法や魅力のアピールなど検討し、現状維持・増加を目指していく。

<清水委員>

先日、学力テストの話題で県として、中学生は平均を上回ったが、小学生は平均を下回ったと聞いた。焼津はどうか、現時点で分かる範囲で良いので、状況を知りたい。

<事務局>

現在、教育センターで分析を進めているところであり、9～10月頃皆様にお知らせできると思う。

<嶋委員>

外国人が多くなると、意思疎通等の観点から問題や教員の負担などもあると思うが、現時点ではどの程度で負担があるのか。

<事務局>

外国につながる児童生徒については、県からの教員配置の増員や、市でも外国人支援員の配置などにより対応している。学校ごとに外国に繋がる児童生徒の割合が異なるが、学校の実状に合わせて配置している。

<本間委員>

大井川地区にはともだちルームというものがあり、自分自身もボランティアで参加しているが、以前よりも手厚く指導する体制が整っていると感じる。多文化共生の時代で、海外の子がいる環境は子どもたちにとっても学びになり良いと思う。今後、さらに支援できる体制が整うようになると良いと思う。

<事務局>

日本に来る外国に繋がる児童生徒の中には、母語も分からず、日本語の理解が難しいという子もいる。教育センターでは、学校に就学する前に、言語を学ぶ教室を開いている。今後も進めていきたい。

<大石委員>

子どもが焼津東小に通っていて集団登校をしているが、グループで学校まで行く時間よりもグループの集合場所まで行く時間の方が長い。1人での時間が多い。今後、子どもの数が減少するとのことだが、こういった状況に対して、市で何か手立てや工夫していることはあるのか。

<事務局>

学校にお願いしている部分が多いが、例えば、複数人で下校するなどの呼びかけを徹底するなどしている。

<大場委員>

子どもが減少している背景には婚姻数の減少もあると思うが、推移などのデータはあるのか。

<事務局>

この場で回答しかねるので、後日お知らせする。

【協議事項第2号】

< 藁科会長 >

次に、協議事項2の「焼津市南部土地区画整理事業換地処分に伴う学区改正について」事務局から説明をお願いします。

< 事務局 >

- ・令和4年度第1回学区審議会において諮問し、協議いただいた後の経過を報告（関係自治会長及び区画整理三役会へ説明済み）。
- ・答申案について説明。（学区見直しの基本方針や学区の概要、学区変更に伴う配慮事項について説明。）

< 藁科会長 >

ただいま、「焼津市南部土地区画整理事業換地処分に伴う学区改正について」説明がありました。質問を含め協議をお願いします。

< 大石委員 >

学区改正の該当者はどのくらいいるか。

< 事務局 >

従前地と換地後の住所が異なる関係で現時点では把握しきれていないが、影響が少なくなるよう配慮している。

< 嶋委員 >

区画整理による移転で、従前の学校に通いたいとの申し出の件数はどの程度か。それによるトラブルはあるか。

< 事務局 >

具体的な件数については、数字を持ち合わせていないが、申し出があった場合には、指定学校の変更申請などで対応している。

< 大場委員 >

以前、豊田地区での学区改正では、同じ町内会で学区が分かれてしまったので、子ども会など不便を感じることもある。町内会で学区が分かれることのないよう考慮してほしい。

< 事務局 >

現在の学区にできるだけ近い形に定めている。

< 藁科会長 >

道路や水路で区切りがついているのは、大きな学区編制ではなく整頓という意味合いが強いと思う。配慮事項はあるが、問題はでてくるかもしれない。詰めていく段階で具体的になると思う。だが、まず学区の線について了解をいただかないと、その先に進めないというのが正直な話かなと思う。

<渡邊委員>

配慮事項で市の考え方がわかる。「希望により」とある。配慮しよう、という姿勢を買うべきだと私は思う。個々に困らないように対応したいという願いが込められている。配慮を大切にしながら、またそれに向かって努力してほしい。配慮事項がこれだけ書かれていることの値打ちを感じる。

<清水委員>

学区の改正による人の動きは、資料1に反映されているのか。

<事務局>

具体的な数字はわからないが、先ほど説明したように、人数のことも考えて、大幅な変更がないようなところで線を引くということで考えて作ってあるのがこちらの案である。

<清水委員>

区画整理地内の学区について、その学区の自治会や子ども会に所属していない子もいる。自治会では子どもの見守り活動があって、どの子にも愛情を持って対応しているが、そういうことが現に起きているということを市教委には承知しておいてほしい。

<藁科会長>

それでは決議をとります。

焼津市南部区画整理事業換地処分に伴う学区改正について、賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

<藁科会長>

全員賛成ですので、答申については適当と認めます。

本日は多くのご意見、ありがとうございました。

審議で特に発言のなかった委員の皆様はいかがでしたでしょうか。

<高橋委員>

今回初めて参加させていただいた。子供がいる保護者としては、自治会の意見等も参考にしながら、子供を第一に考えていただけたらと思う。

<多々良委員>

配慮事項にあてはまらないご家庭から相談を受けた場合は、学校でも丁寧に対応したいと思う。また、児童生徒数の推移で、大井川西小の令和11年度入学児童は16人という数字を見て、本当に子どもが減っていくことを実感した。学校をこれからどういうふうに考えていくか、ということを感じた。

<小長谷委員>

配慮事項が考えられて、子供たちが一番よい形で通えること、またこれに合わないような事情が出てきたときは、協議していただけるということもわかっているので、ありがたいと思う。

<藁科会長>

みなさまから貴重な意見をいただき、ありがとうございました。
では進行を司会者にお返しします。

<事務局>

藁科会長、ありがとうございました。

次回は、1月29日を予定していますが、協議事項がない場合は開催しません。開催する場合は、改めて通知を差し上げますので、ご承知おきください。

委員の皆様、他に何かありますか。

(なし)

以上をもちまして「令和5年度第1回焼津市立小学校及び中学校通学区域審議会」を閉会いたします。委員の皆様ありがとうございました。

署名人
